施策の記載について

第３章第２節では、**「安全で豊かなくらしの実現」「千葉の未来を担う子どもの育成」「経済の活性化と交流基盤の整備」**という３つの基本目標を達成するため、平成25年度（2013年度）から平成28年度（2016年度）までの４年間で重点的に取り組む政策・施策を体系的に掲載しています。

目標

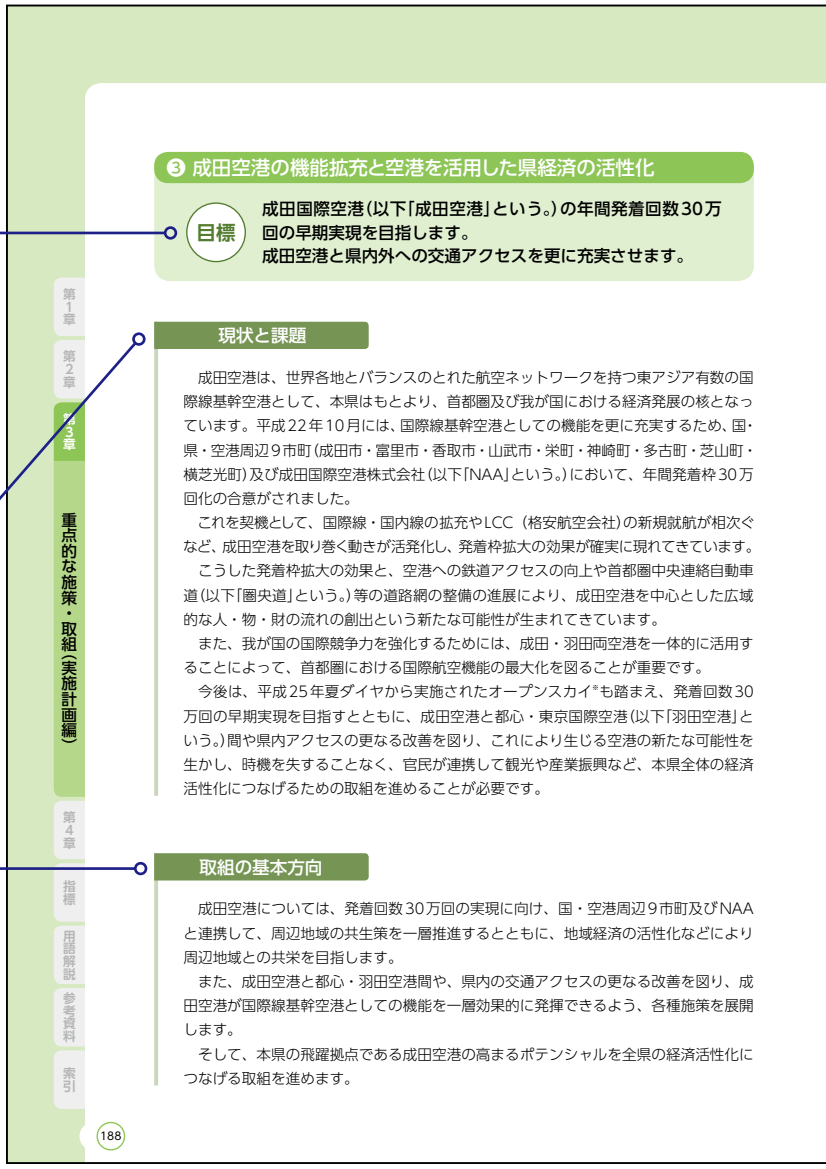
施策ごとに「何を目指すのか」という目標を記載しました。

現状と課題

38の施策ごとに、県を取り巻く「現状と課題」を記載しました。

取組の基本方向

県が施策に取り組む上での基本的な方向について記載しました。



❸ 成田空港の機能拡充と空港を活用した県経済の活性化

目標　成田国際空港（以下「成田空港」という。）の年間発着回数30万回の早期実現を目指します。
成田空港と県内外への交通アクセスを更に充実させます。

現状と課題

成田空港は、世界各地とバランスのとれた航空ネットワークを持つ東アジア有数の国際線基幹空港として、本県はもとより、首都圏及び我が国における経済発展の核となっています。平成22年10月には、国際線基幹空港としての機能を更に充実するため、国・県・空港周辺９市町（成田市・富里市・香取市・山武市・栄町・神崎町・多古町・芝山町・横芝光町）及び成田国際空港株式会社（以下「NAA」という。）において、年間発着枠30万回化の合意がされました。

これを契機として、国際線・国内線の拡充やLCC（格安航空会社）の新規就航が相次ぐなど、成田空港を取り巻く動きが活発化し、発着枠拡大の効果が確実に現れてきています。

こうした発着枠拡大の効果と、空港への鉄道アクセスの向上や首都圏中央連絡自動車道（以下「圏央道」という。）等の道路網の整備の進展により、成田空港を中心とした広域的な人・物・財の流れの創出という新たな可能性が生まれてきています。

また、我が国の国際競争力を強化するためには、成田・羽田両空港を一体的に活用することによって、首都圏における国際航空機能の最大化を図ることが重要です。

今後は、平成25年夏ダイヤから実施されたオープンスカイ※も踏まえ、発着回数30万回の早期実現を目指すとともに、成田空港と都心・東京国際空港（以下「羽田空港」という。）間や県内アクセスの更なる改善を図り、これにより生じる空港の新たな可能性を生かし、時機を失することなく、官民が連携して観光や産業振興など、本県全体の経済活性化につなげるための取組を進めることが必要です。

取組の基本方向

成田空港については、発着回数30万回の実現に向け、国・空港周辺９市町及びNAAと連携して、周辺地域の共生策を一層推進するとともに、地域経済の活性化などにより周辺地域との共栄を目指します。

また、成田空港と都心・羽田空港間や、県内の交通アクセスの更なる改善を図り、成田空港が国際線基幹空港としての機能を一層効果的に発揮できるよう、各種施策を展開します。

そして、本県の飛躍拠点である成田空港の高まるポテンシャルを全県の経済活性化につなげる取組を進めます。

188

主な取組

1　成田空港を活用した県経済の活性化

成田空港では、年間発着枠30万回化の合意を契機として、国際線、国内線の拡充、LCC（格安航空会社）の新規就航が相次いでおり、また、平成25年夏ダイヤからはオープンスカイも実施されるなど、空港のポテンシャルはますます高まっています。こうした状況を踏まえ、県内経済団体や民間企業、関係自治体等と連携して、年間発着回数30万回の早期実現を促進するとともに、空港の活力を県内の観光や産業の振興など本県全体の経済活性化につなげるための取組を進めます。

- 年間発着回数30万回の実現に向けた協力
- 成田空港活用協議会＊＊への参画による県内観光・産業の振興
- 戦略的な企業誘致（再掲）
- 東アジア・東南アジアを重点市場とした観光プロモーションの実施（再掲）
- 成田空港・羽田空港を中心とした広域連携による誘客促進（再掲）

成田国際空港（提供：成田国際空港株式会社）

LCC航空会社（提供：成田国際空港株式会社）

成田空港活用協議会設立総会

チーバくんの光り輝く県づくりコラム

成田空港活用協議会

成田空港活用協議会は、LCC（格安航空会社）の新規就航が相次ぐなど、活発化する成田空港の動きを、県内の観光や産業の振興につなげるために、官民が一体となって平成25年7月に設立されました。

協議会では、民間のアイデアを取り入れながらユニークな事業を展開しようとしており、県も協議会と連携して、成田空港の活力を県勢の発展につなげていきます。

第3章 第2節 施策の内容 第Ⅲ項 経済の活性化と交流基盤の整備 1 千葉の輝く魅力づくり

第3章 第2節 第Ⅲ項 189

主な取組

目標の達成に向けて実施する取組のうち主なものを記載しました。

具体的な事業

それぞれの「主な取組」に含まれる具体的な事業の内容を記載しました。

再掲

「具体的な事業」の中には、１つの事業が複数の箇所に記載されているものがありますが、１箇所だけを《主たる掲載ページ》に位置付け、それ以外を《再掲ページ》として扱っています。事業の末尾にかっこ書きで「（再掲）」と付されているのは《再掲ページ》です。

チーバくんの光り輝く県づくりコラム

コラム欄を設け、千葉県マスコットキャラクター「チーバくん」を用いて、計画の新しいトピックスや特色ある事業などを紹介しました。また、コラムに関連する箇所については、赤線を引き、＊印を付けました。

《再掲ページ》は《主たる掲載ページ》よりも前にある場合があります。